

第37回全国高等専門学校プログラミングコンテスト 本選参加のご案内(協賛企業・審査委員向け)

全国高等専門学校プログラミングコンテスト実行委員会

R8.8.18 初版

目次

1. 大会全般（各部門共通）	2
1.1 会場案内	2
1.2 日程	2
1.3 交流企画「名刺クエスト」	3
1.4 情報交換会	3
1.5 協賛企業控室	4
1.6 審査委員	4
1.7 昼食（弁当）の受け取り	4
1.8 NAPROCK 国際プログラミングコンテスト	4
2. 物品の送付（ノベルティグッズ、展示物など）	5
2.1 ノベルティグッズの送付	5
2.2 本選会場で使用する物品の送付（展示ブース関係、企業賞副賞など）	5
2.3 搬出	5
3. 展示ブース（産学連携協賛・特別協賛）	6
4. 課題部門・自由部門の概要	7
4.1 プレゼンテーション（課題部門・自由部門）	7
4.2 デモンストレーション（課題部門・自由部門）	7
4.3 課題・自由部門の審査手順（審査委員向け）	8
4.4 課題部門・自由部門担当の審査委員へのお願い	8
5. 競技部門	9
5.1 試合の実施	9
5.2 予行演習	9
5.3 競技部門の賞	9
5.4 競技部門担当の審査委員へのお願い	9
6. 特別講演、閉会式および表彰	10
6.1 特別講演および閉会式	10
6.2 表彰	10
6.3 受賞チームとのコンタクトについて	10
7. その他、お問い合わせ	11
付録 1 会場案内図	12
付録 2 交通案内図、駐車場	15
付録 3 課題部門プレゼンテーション審査タイムテーブル	16
付録 4 自由部門プレゼンテーション審査タイムテーブル	17
付録 5 デモンストレーション審査、マニュアル審査タイムテーブル	18
付録 6 競技部門の組み合わせ	19

1. 大会全般（各部門共通）

1.1 会場案内

本選会場（サンポートホール高松）の主な施設名及び使用目的は下表のとおりです。
 詳細な会場案内については付録1の会場案内図またはプロコン公式サイトをご覧ください。
 また、会場への交通案内は付録2をご覧ください。

開会式・閉会式，特別講演会，競技部門会場	3F 大ホール
課題・自由部門デモンストレーション会場	1F 展示場
課題部門プレゼン会場（1日目のみ）	5F 54会議室
自由部門プレゼン会場（1日目のみ）	5F 第2小ホール
情報交換会（1日目夕方）	5F 第2小ホール
企業展示	3F グランドホワイエ
救護室	1F 主催者控室
受付	3F ロビー
プロコン本部	3F 控室
審査委員控室（課題・自由）	6F 62会議室、63会議室
審査委員控室（競技）	3F 大ホール第5楽屋
協賛企業控室	6F 61会議室
協賛企業控室（産学連携協賛用）	5F 51会議室

1.2 日程

※10月9日（金）は参加学生向け受付（協賛企業、審査委員の方々の受付はございません）
 10月10日（土）

	協賛企業関係者	審査委員(課題・自由)	審査委員(競技)	(参考)参加学生
8:00	開場、受付 ブース展示準備 (3F ホワイエ)	開場、受付	開場、受付	参加者連絡会議 展示準備 (展示場)
8:40		審査委員会 (62 会議室)	審査委員会 (第 5 楽屋)	
9:10				
9:30	開会式 (大ホール)			
10:10 ～ 17:00	ブース来場者 対応 自由見学	プレゼンテーション審査 (課題：54 会議室) (自由：第 2 小ホール) ※タイムテーブル付録 3,4	競技審査 (大ホール)	競技部門 予行演習 & 1 回戦 (大ホール) ※タイムテーブル付録 6 課題・自由部門 デモンストレーション 一般公開 (展示場)
17:20		審査委員会 (62 会議室)	審査委員会 (第 5 楽屋)	
17:30	情報交換会 (第 2 小ホール)			学生交流会(大ホール)
19:00	終了			

10月11日(日)

	協賛企業関係者	審査委員(課題・自由)	審査委員(競技)	(参考)参加学生
8:00	開場、受付		開場、受付	開場、受付
8:30	ブース展示準備 (3F ホワイエ)	開場、受付		
8:40		審査委員会		
9:00	ブース来場者 対応 自由見学	デモンストレーション ・マニュアル審査 (展示場) ※タイムテーブル付録5	競技部門審査 (大ホール)	【競技部門】 敗者復活戦・準決勝 および決勝 (大ホール) 決勝は 13:00 ごろ～
13:00		審査委員会 (62 会議室、63 会議室)		【課題・自由部門】 デモンストレーション 審査及び一般公開 (展示場) ※タイムテーブル付録 6 (ブース撤収 13:00～)
14:00	ブース撤収		審査委員会 (第 5 楽屋)	
14:15		企業賞審査、授与に関する説明 (62 会議室)		
14:30	特別講演会 (大ホール)			
15:30	閉会式 (大ホール)、企業賞授与			
17:00	終了、入賞者インタビュー、企業賞受け渡し相談など			

1.3 交流企画「名刺クエスト」

第 37 回香川(高松)大会においても協賛企業と参加学生・教員の交流促進のため交流企画「名刺クエスト」を実施いたします。

期間：開会式終了後から特別講演会開始前（10月11日（日）14:30）まで

企業部門：参加チームの学生（約 400 名）と指導教員（約 100 名）が企業の方と名刺交換を行い、交換した名刺の数を競います。

※詳細については、高専プロコン公式 Web サイトをご覧ください。

1.4 情報交換会

引率教員と協賛企業の方々と交えた情報交換会を、以下のとおり実施を予定しています。

多くの高専教員も参加します。協賛企業・審査委員の方々におかれましては、ぜひご参加ください。

参加費は無料です。協賛企業用名札（ピンク色のストラップ）または審査委員用名札（黄緑色のストラップ）を身に着けてご入場ください。

お茶、軽食を用意しております。

10月10日(土) 17:30～19:00 場所：第2小ホール

- ・ 実行委員長、NAPROCK 理事長あいさつ
- ・ 産学連携協賛企業(4社)のご登壇（企業紹介など）
- ・ 乾杯後、高専教職員との情報交換（テーブルは高専所在地区別に分かれています）
- ・ 特別協賛企業、一般協賛企業のご紹介（ご登壇・スピーチ無、企業名を前方スクリーンで紹介）
- ・ 閉会あいさつ

1.5 協賛企業控室

- 協賛企業控室は 6F 61 会議室となります。エレベーターをご利用ください。
- 1 日目は 8:00 から 19:30 ごろ（情報交換会終了 15 分後程度）まで、2 日目は 8:00 から 17:30 ごろ（閉会式終了後 30 分程度）まで利用できます。上記時間外は施錠するため、時間外の荷物の預け入れ・取り出しはできませんので、ご注意ください。
- 産学連携協賛企業様用には、別の控室（5F 51 会議室）を用意しております。利用方法については、受付にてご案内いたします。
- 上記のいずれの控室も、複数の協賛企業様の共用となっておりますので、貴重品の管理にはお気を付けください。

1.6 審査委員

- 審査委員をお申込みの方で、ご担当される部門（課題・自由・競技）については、審査に関する要領について、9 月中旬ごろにメールにてお知らせいたします。
- 審査委員として登録されている方は、審査委員控室（6F 62 会議室、63 会議室）をご利用できます。
- 企業賞のプレゼンターとして登録されている方は、大会 2 日目 14:15～の企業賞審査の時間帯のみ、ご入室いただけます。それ以外の時間帯は、審査委員控室はご利用いただけませんので、ご了承ください。
- 厳格な審査の実施のため、審査委員以外の方の審査委員控室のご入場はご遠慮ください。事情によりお連れの方もお入りになりたい場合は、控室の入口にて、係員にその旨をお伝えください。なお、大会 2 日目 13:00～14:15（審査委員会）の時間帯は、審査委員でない方のご入室はできません。
- 控室は、1 日目は 8:00 から 19:30 ごろ（情報交換会終了 15 分後程度）まで、2 日目は 8:00 から 17:30 ごろ（閉会式終了後 30 分程度）まで利用できます。上記時間外は施錠するため、時間外の荷物の預け入れ・取り出しはできませんので、ご注意ください。
- 審査委員控室は、審査委員の皆様の共用となっておりますので、貴重品の管理にはお気を付けください。

1.7 昼食（弁当）の受け取り

- 協賛企業関係者としてご注文いただいた弁当については、指定場所(1F 市民ギャラリー前)にてお受け取りください。飲食は、協賛企業控室（6F 61 会議室）のほか、指定された場所（屋上広場、楽屋、54 会議室（2 日目のみ））をお願いします。
- 審査委員として登録された方がご注文された弁当については、審査委員控室でのお受け取りとなります。もしお受け取り用の名簿にお名前がない場合は、登録種別が異なっている場合があります。飲食は、審査委員控室（6F 62 会議室、63 会議室）をお願いします。
- 不明な点は現場スタッフにお問い合わせください。

1.8 NAPROCK 国際プログラミングコンテスト

今大会は、第 18 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテストを併催しておりますので、海外の大学・高専からの参加がございます。

【参加校】

新モンゴル高専、モンゴル科学技術大学附属高専、モンゴル科学技術大学（以上モンゴル）、ハノイ国家大学（ベトナム）、KOSEN-KMITL（タイ）

2. 物品の送付（ノベルティグッズ、展示物など）

2.1 ノベルティグッズの送付

- 本大会では、参加者全員に配布するノベルティグッズを個別の袋に詰め、参加者が持ち帰りやすいように仕分けをします。その作業を行うため、大会開催の一个月前にあたる 9月10日(木)までに到着するよう、主管校（香川高専）あてにお送りください。
- 配送業者の指定はありません。
- 配布物が複数ある場合には、一人分として個包装した状態でお送りください。グッズ仕分け作業の関係上、ご協力をお願いいたします。
（例）会社パンフレット、社名入りステッカー、社名入りボールペンを、一つの袋に包装した状態で、参加者全員（400）の袋を主管校に送付

【ノベルティグッズの荷物の宛先】（参加学生に配布するもので、プロコン事務局で仕分けが必要な物品）
〒761-8058 香川県高松市勅使町 355
香川高専高松キャンパス 学務課学生支援係（高専プロコン事務局）宛
TEL 087-869-3811

2.2 本選会場で使用する物品の送付（展示ブース関係、企業賞副賞など）

本選当日に、ブースで配布するノベルティグッズ、および受賞したチームに贈呈する副賞（パネル・目録など）については、ヤマト運輸を利用し、本選前日 10月9日(金)の午前中に、会場に届くようにご送付ください。どうしても別配送業者を利用する必要がある場合は、ご相談ください。

【ブース関係、企業賞関係荷物の宛先】
〒760-0019 香川県高松市サンポート 2-1 サンポートホール高松 3F 大ホールグランドホワイエ
高専プロコン 企業ブース 宛
TEL : 087-869-3833
時間指定 10/9(金) 午前中

- 配送物のラベルには、物品の詳細のほかに「配布グッズ」「企業賞用パネル」「受賞チーム向け副賞」「ブース設置物品」などのように、実行委員会で仕分け可能なように内容物を明記してください。
- 届いた荷物のうち、「企業賞用パネル・副賞」「受賞チーム向け副賞」は実行委員会で引き取り、表彰式で贈呈できるよう保管・準備します。
- その他の荷物は、本選当日朝までに各企業ブースに配置いたします。ブースに荷物が届いていない場合は、受付までご確認ください。
- 表彰式で贈呈する副賞で、配送業者を利用せず、当日に会場へ直接お持ち込みされる場合、本選2日目 10月11日（日）11:00 までに、受付までお持ちください。

2.3 搬出

本選2日目 10月11日（日）の 14:00 以降に、ヤマト運輸に着払いでの発送を依頼することが可能です。現場にて運送業者に直接お申し込みください。

着払い伝票は会場にて配布します。梱包に必要な資材はご準備ください。

3. 展示ブース（産学連携協賛・特別協賛）

- ブース展示会場（3階大ホール入口のグランドホワイエ）にパネルと机を用意いたします。
- 机の上には会社案内等の配布物や展示物等を置くことができます。
- 椅子を1脚ご用意します。
- ポスター掲示スペースは、机より上の部分となります。ポスター以外の掲示も可能です。
- パネルは画鋏・テープ類を使用することが可能です。
- ブース位置は実行委員会にて調整いたします。場所のご希望には添いかねますので、ご了承ください。
- 各社のブースの位置は、本選当日に会場入り口にてご確認ください。

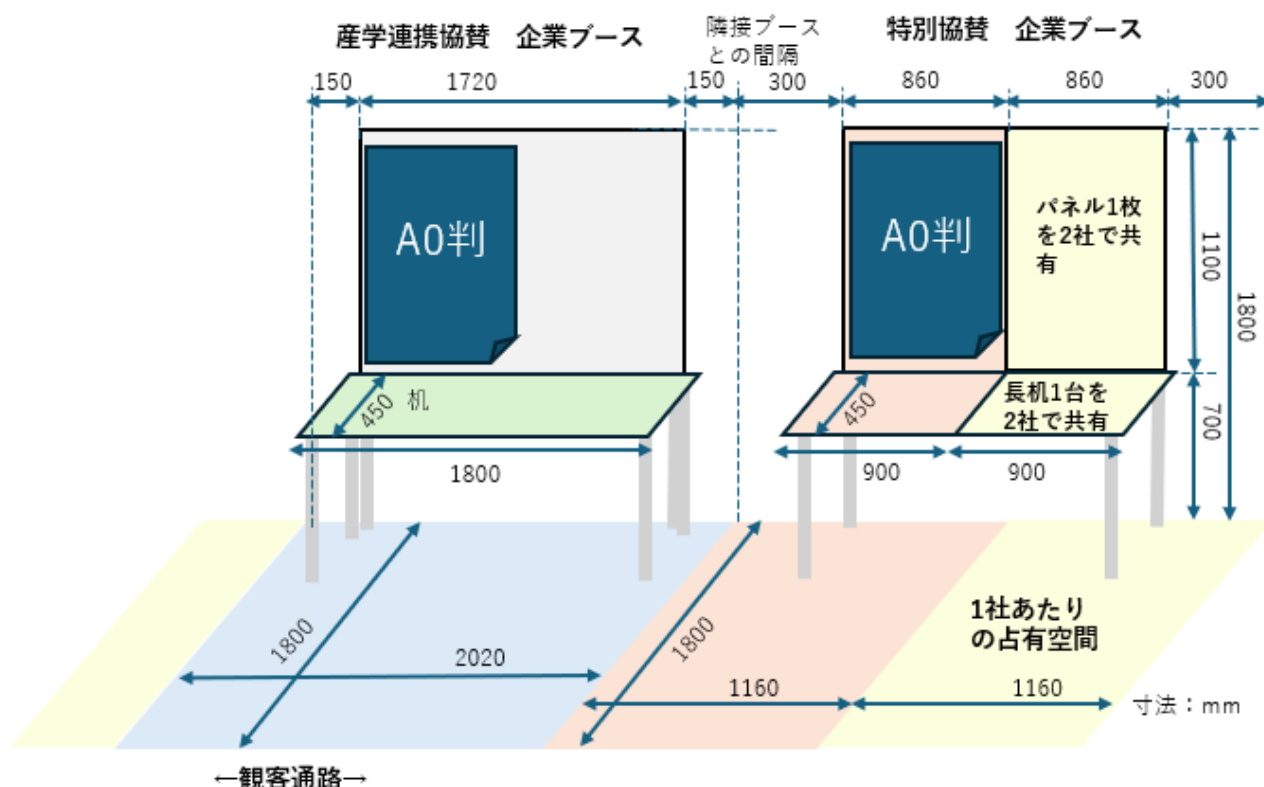
● ブース設置イメージ

● 産学連携協賛企業様 ※左図

A0判（縦 1189mm，横 841mm）のポスターが2枚掲示できます。

● 特別協賛企業様 ※右図

A0判のポスターが1枚掲示できます。机は、幅 1800mm を左右に分けて2社での使用となります。



※昨年より面積が小さくなっております。ご了承下さい。

4. 課題部門・自由部門の概要

4.1 プレゼンテーション（課題部門・自由部門）

(1) 概要【10月10日(土) 10:30～16:44】

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 設置するプロジェクタを使用します。スクリーンは1面のみ利用可能です。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行います。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めていません。必ず口頭で説明を行います。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めています。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、付録3, 4のようになっております。
- 発表は8分、質疑応答は4分(海外チームは6分)です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移ります。
- 審査委員からの質問には、発表者だけが答えてください。
- パソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

(2) 聴講に当たって

- プレゼンテーション会場への出入りは自由です。
- 発表途中での部屋の出入りは、プレゼンテーション審査の妨げとなりますので、ご遠慮ください。
- お持ちのスマートフォン等の携帯端末は、マナーモードなど、音を発しない状態に設定してください。
- 付録3, 4に各部門におけるプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しています。

4.2 デモンストレーション（課題部門・自由部門）

(1) デモンストレーション一般公開【10月10日(土) 10:10～17:00, 10月11日(日) 9:00～13:00】

- デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場としています。
- 各テーマに精通した方や全くの素人の方など、さまざまな方が来場することを踏まえ、親切に分かりやすく説明すること、相手に応じた説明を心がけるように指示しています。
- 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査およびマニュアル審査と並行して行います。
- 協賛企業様へのPRもデモンストレーションの重要な要素なので、ぜひ各ブースにお立ち寄りいただき、質問などを積極的に行ってください。
- 2日目の午前に審査がありますので、審査委員がブースに来た際には、一般公開対応を停止し、審査対応を優先してくださるよう、ご理解とご協力をお願いします。

(2) デモンストレーション審査【10月11日(日) 9:00～10:38】

- 審査委員は、3～4名程度のグループに分かれ巡回審査します。学生は、システムを実行させ操作しながら説明します。その後に質問時間をとります。
- 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
- デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
- 付録5にデモンストレーション審査のタイムテーブルを掲載しています。

(3) マニュアル審査【10月12日(日) 9:00～12:02】

- 提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。マニュアル審査は1名で行います。
- 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
- マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先としてください。審査には運営責任者としてプロコン委員1～2名がつきます。
- 付録5にマニュアル審査のタイムテーブルを掲載しています。

4.3 課題・自由部門の審査手順（審査委員向け）

詳細については、当日の審査委員会にて説明します。参加学生に公開している審査手順は下記の通りです。

I. 各審査委員における評価

1. プレゼンテーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重点), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。

2. デモンストレーション審査: A, B, C の3段階評価をします。

独創性(最重点), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表揭示, 完成度等を総合して評価します。

3. マニュアル審査: 正確性・記述力に関してそれぞれ5段階, 3段階の評価をします。

正確性: A マニュアルどおりに動作する。

B マニュアルどおりに動作するが, 説明を受けないと分かりにくい。

C 一部マニュアルどおりに動作しない。

D マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所もある。

E マニュアルとして不備が目立つ。

記述力: A, B, C の3段階評価(わかりやすさなど)

II. 選考の流れ

1. 評価一覧表の作成

一覧表に, 各審査委員からの評価(A, B, C 等)を入力します。

2. 点数換算集計表の作成

プレゼンテーション, デモンストレーションの審査評価は下記のように換算します。

A=6, B=3, C=1; 各部門, 審査委員の評価を合計します。

マニュアルの審査評価は下記のように換算します。

正確性に関しては, A=7, B=5, C=3, D=2, E=1

記述力に関しては, A=3, B=2, C=1

プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評価を合計し総合得点とします。

3. 成績順位表の作成

総合得点の高い順にソートし, 順位を算出します。

4. 選考の順序

以下の順序に従い, 審査委員会(2日目 13:00 開始予定)で審議・合議の上, 判断します。

(i) 最優秀賞, 優秀賞

得点のみの情報を提示し, 上位ノミネートチーム数を決定します。審査委員ごとに, 上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入します。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞), 優秀賞を決定します(新增沢方式)。

【参考】 新增沢式採点法 <https://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法>

(ii) 特別賞

最優秀賞, 優秀賞に選ばれなかったチームから, 課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考します。

(iii) 佳作

佳作に該当する作品があるかどうか, 審議します。

※ 残りの作品は敢闘賞となります。

4.4 課題部門・自由部門担当の審査委員へのお願い

- 審査資料は Web ページからダウンロードする方式で配布します。また、評点の入力は、ブラウザソフトを利用し、インターネットにアクセスして行います。そのため、審査資料を閲覧したり、評点をご入力いただくための端末（ノートパソコンやタブレット）をご持参ください。なお、インターネット接続環境は、大会にて準備いたします。

もし、端末のご用意ができない場合は、あらかじめ審査担当にご連絡ください。

- 審査委員控室、プレゼンテーション会場には、電源の用意がございます。
- 審査に関する詳細は、9月中旬ごろにお知らせいたします。

5. 競技部門

5.1 試合の実施

1 回戦 6 試合，敗者復活戦 3 試合，準決勝 4 試合，決勝 1 試合により行います。1 回戦は 10 月 10 日(土)に，敗者復活戦，準決勝，決勝は 10 月 11 日(日)に行います。

1 回戦の組み合わせは，コンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 6 競技組み合わせ」の通りです。

なお、競技会場（大ホール）は、大会期間中自由に見学いただけます。

5.2 予行演習

競技に先立って以下の通り予行演習を行います。全チームが参加します。

日時: 10 月 10 日(土) 10:10～

会場: 競技部門会場（大ホール）

予行演習は 1 試合 10 分程度での実施を予定しています。

また、予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10 月 10 日(土) 8:30～，3F 大ホール)で連絡されます。

5.3 競技部門の賞

- 決勝での成績により，高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)，準優勝，第 3 位を決定します。
- 応募書類，提出書類及び競技内容から特別賞を 3 チーム以内で選考します。選考方法は競技の順位によらず，アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。

5.4 競技部門担当の審査委員へのお願い

- 審査委員控室は、大ホール第 5 楽屋となっております。受付にてご案内いたしますので、9:00 までに受付へお越しください。審査委員会は 9:10 から行います。
- 2 日目は受付不要です。直接競技会場にお越しください。8:30 から競技が開始します。
- 審査資料は Web ページからダウンロードする方式で配布します。そのため、審査資料を閲覧したり、評点をご入力いただくための端末（ノートパソコンやタブレット）をご持参ください。なお、インターネット接続環境は、大会にて準備いたします。
もし、端末のご用意ができない場合は、あらかじめ審査担当にご連絡ください。
- 審査委員控室には、電源のご用意がございます。

6. 特別講演、閉会式および表彰

6.1 特別講演および閉会式

- 大会 2 日目、ブース展示、および審査委員会終了後、下記の行事を予定しています。
 - ・ 14:30～15:10 特別講演会
講師：(株)大和総研 顧問 竹内芳明氏（高松高専卒業生、前総務省事務次官）
 - ・ 15:30～17:00 閉会式・表彰式
- 協賛企業様、審査委員の皆様におかれましては、大会 2 日目 14:30 以降の行事は任意参加となります。（当日中にお帰りになる方もいらっしゃるため）

6.2 表彰

閉会式では表彰が行われ、以下の各賞が授与されます。

- 企業賞の審査は 14:15 ごろから、競技部門の審査が終了した後に、審査委員控室（6F 62 会議室）にて行います。企業賞を授与される企業のプレゼンターとして登録されている方は、時間までに審査委員控室へお集まりください。
- 閉会式におけるご登壇の順番や、授与に当たってのスピーチなど、授与に関する申し送りを企業賞審査の前後に行います。
- 企業賞で使用する物品（パネル、目録など）は、本部にお預けください。閉会式まで保管します。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞（4 チーム）	特別賞（4 チーム）	特別賞（3 チーム）
敢闘賞	敢闘賞	-
佳作	佳作	-
NAPROCK 国際大会		
Themed Section	Original Section	Competition Section
Grand prize	Grand prize	Champion
Second prize	Second prize	1st runner-up prize
Special prize	Special prize	Special prize
企業賞		

6.3 受賞チームとのコンタクトについて

賞品受け渡しなどの関係で、当該チーム関係者とコンタクトが必要な場合は、閉会式後に行ってください。また、各部門の入賞者には、閉会式後にインタビューなどの取材が行われますので、取材の前後のタイミングを見計らう、もしくはチームの指導教員などお声がけいただくなどご配慮いただき、大会運営の円滑な進行にご協力をお願いします。

7. その他、お問い合わせ

- 本選期間中に撮影・使用された写真や動画類は、全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校 機構の広報活動に使用されることがあります。
- 全国高等専門学校プログラミングコンテストに参加する一人ひとり（高専プロコン参加学生・教職員・審査委員、協賛企業関係者、高専プロコン実行委員会関係者、その他関係者）が、規律ある行動をとる責務を負っていることに鑑み、参加者等が遵守すべき基本的な行動規範を定めています。
行動規範は、下記 URL にて公開しています。
<https://www.procon.gr.jp/conduct/>
- 本大会は、高松観光コンベンションビューロー開催支援制度及び香川県コンベンション誘致対策補助金制度を活用して実施します。県外参加者の参加者数及び宿泊者数の実績を証明するため、参加者情報（都道府県名・氏名・宿泊先・宿泊日）を（公財）高松観光コンベンションビューロー及び香川県交流推進部交流推進課に提供しますこと、ご了承ください。
- 当日現場でのお問い合わせは、受付にて承ります。また、本選当日の緊急を要する連絡については、下記までご連絡ください。

全般：事務局 香川工業高等専門学校 学務課学生支援係

Tel : 087-869-3811 / E-mail : jimu37@procon.gr.jp

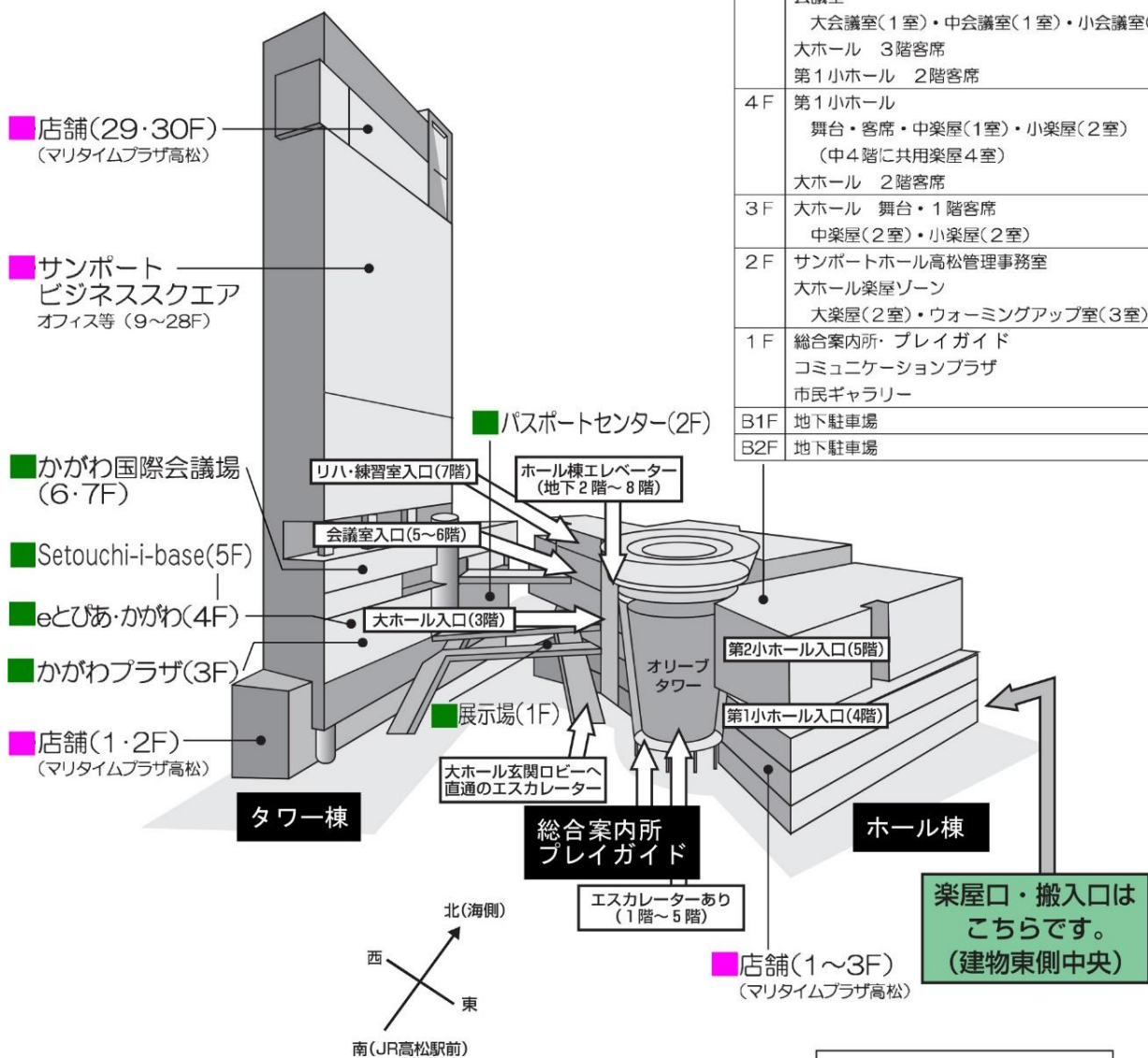
協賛担当：小山（おやま） 080-1433-1479, oyama@kosen-k.go.jp

審査担当：臼井（うすい） 090-5028-5781, s_usui@cc.miyakonojo-nct.ac.jp

付録 1 会場案内図

■サンポートホール高松

8F	屋上広場
7F	アートヴィレッジ リハーサル室(3室)・練習室(6室)・和室(1室)
6F	会議室 大会議室(1室)・中会議室(2室)・小会議室(4室)
5F	第2小ホール 舞台・客席・中楽屋(1室)・小楽屋(2室) 会議室 大会議室(1室)・中会議室(1室)・小会議室(3室) 大ホール 3階客席 第1小ホール 2階客席
4F	第1小ホール 舞台・客席・中楽屋(1室)・小楽屋(2室) (中4階に共用楽屋4室) 大ホール 2階客席
3F	大ホール 舞台・1階客席 中楽屋(2室)・小楽屋(2室)
2F	サンポートホール高松管理事務室 大ホール楽屋ゾーン 大楽屋(2室)・ウォーミングアップ室(3室)
1F	総合案内所・プレイガイド コミュニケーションプラザ 市民ギャラリー
B1F	地下駐車場
B2F	地下駐車場



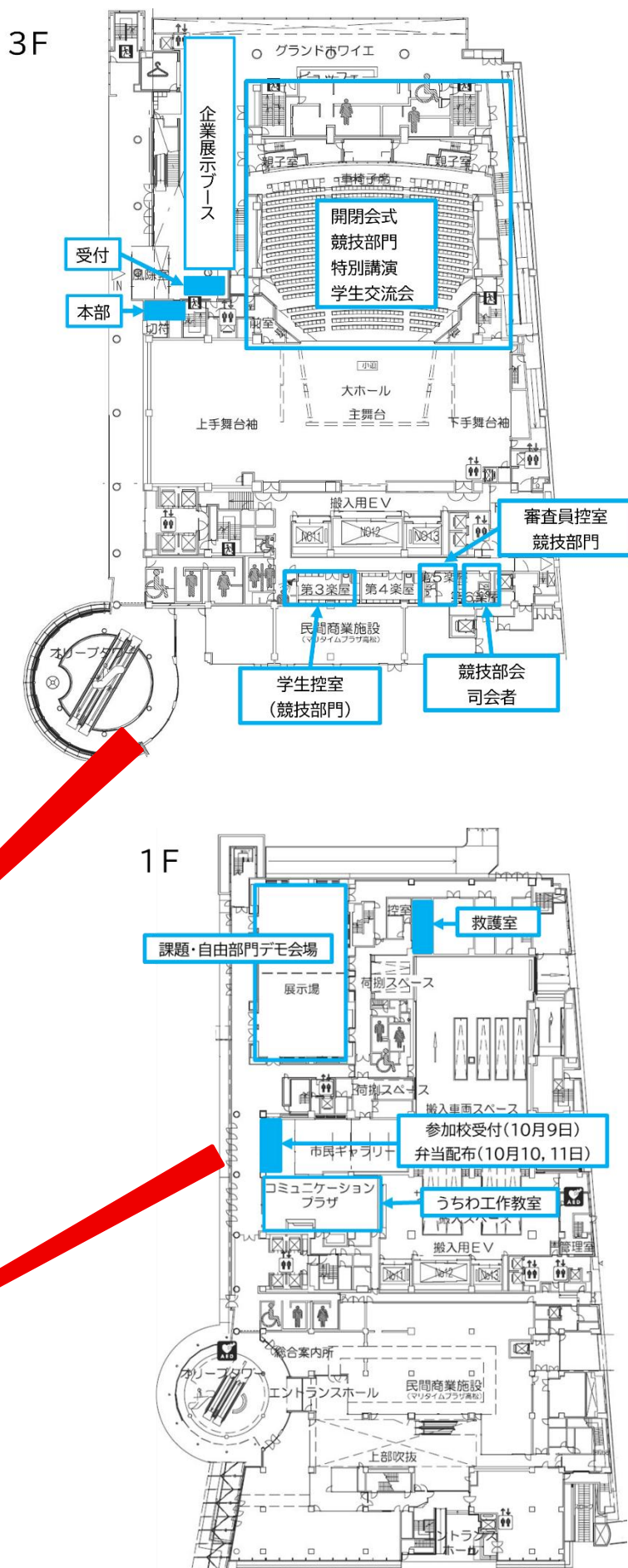
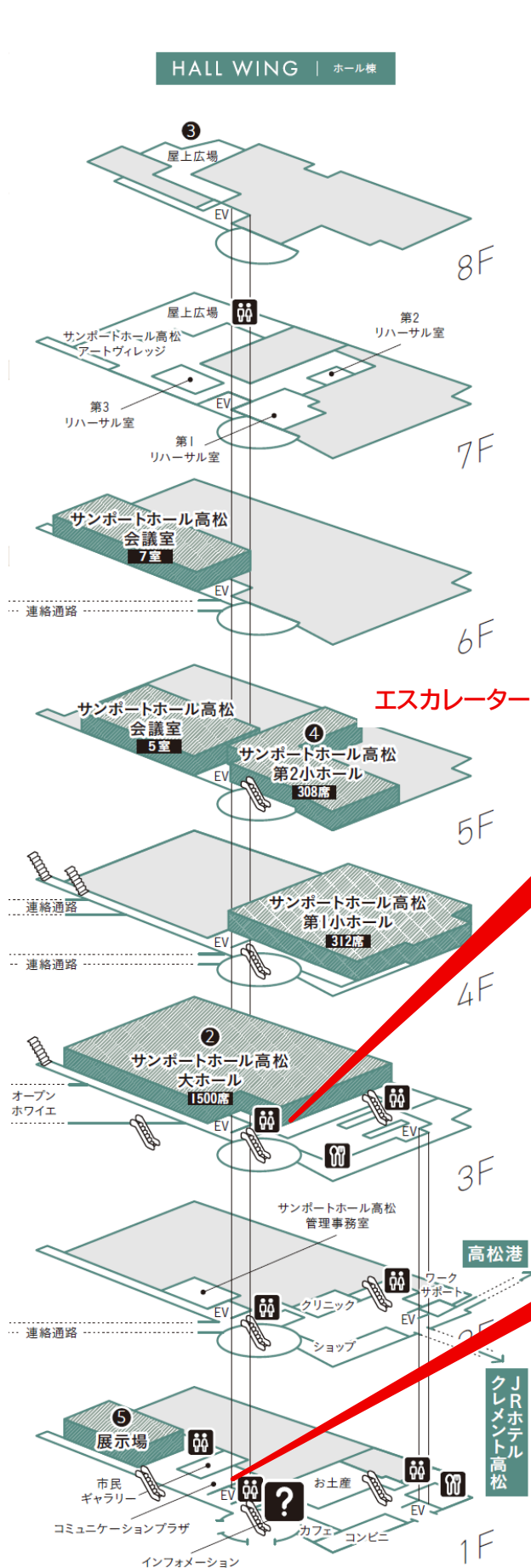
凡例

- …サンポートホール高松(市施設)
- …県施設
- …民間施設

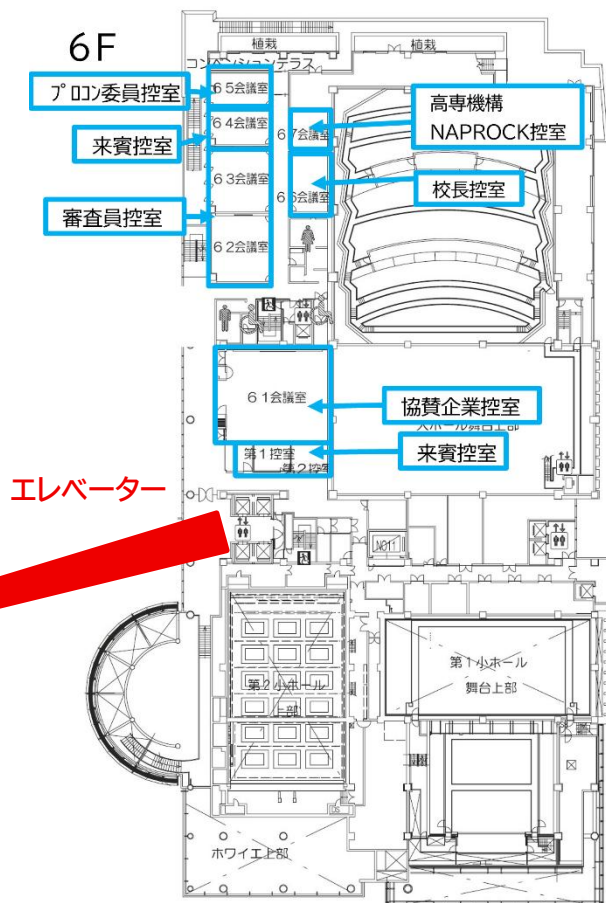
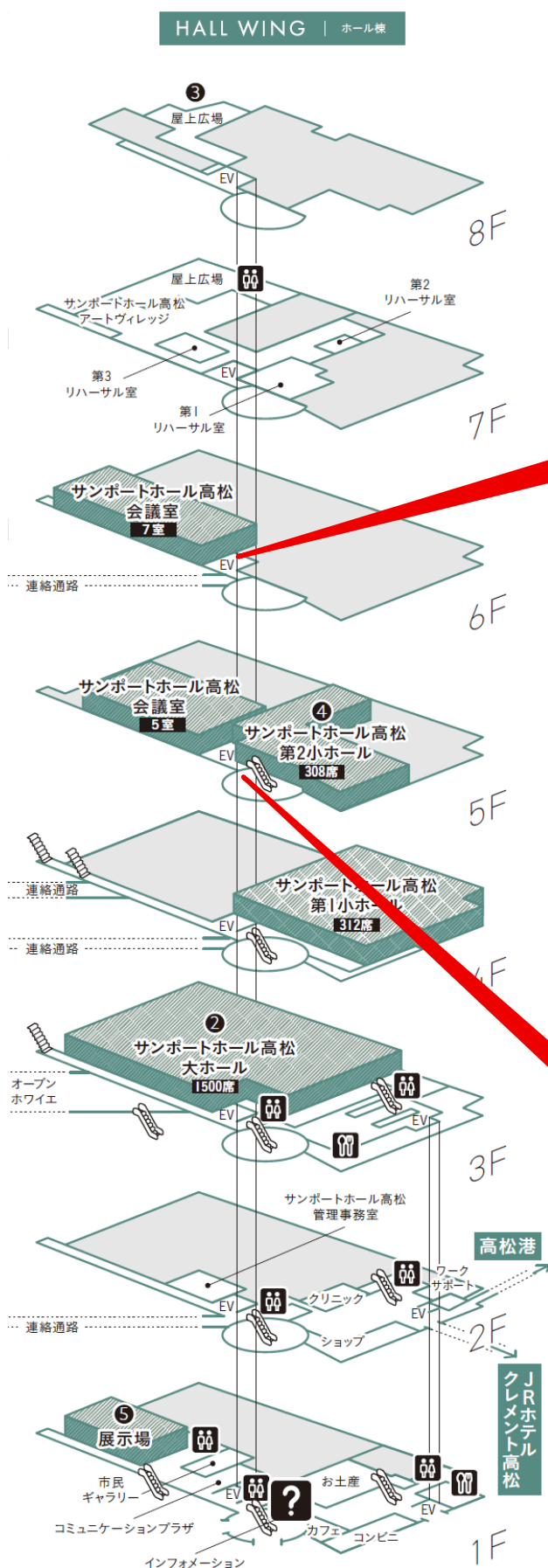
<https://www.sunport-hall.jp/guide/floor.html> より

会場はホール棟になります。

Web サイト <https://www.sunport-hall.jp/>

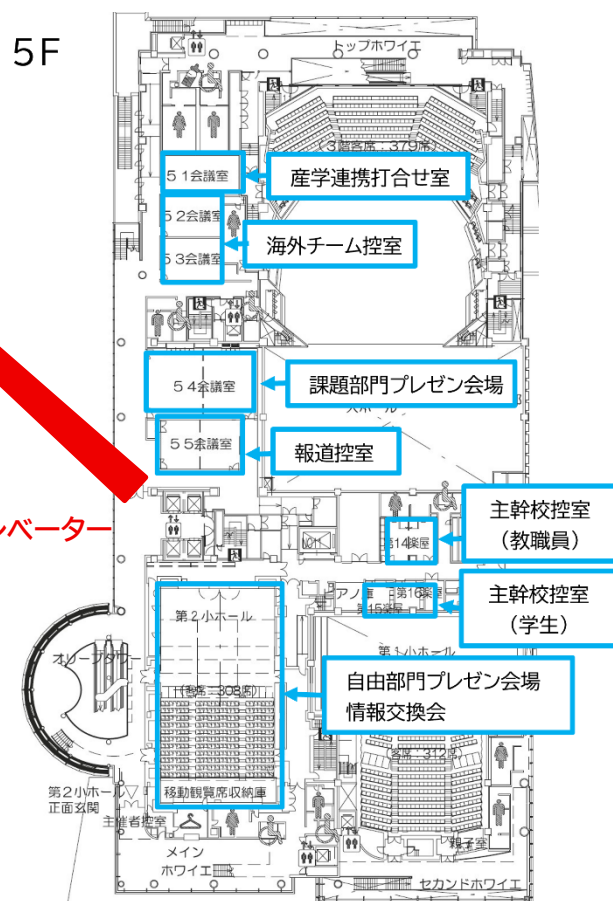


5F、6F へはエレベーターをお使いください。



エレベーター

エレベーター



付録2 交通案内図、駐車場

※詳細については、公式サイト <https://www.symboltower.com/access/> をご覧ください。

● 各種アクセス

JR 高松駅から：徒歩約 2 分

ことでん高松築港駅から：徒歩約 5 分

高松空港から：リムジンバスで JR 高松駅まで約 40 分
(車利用の場合) 高松自動車道高松西 IC から約 20 分

● 駐車場のご利用について

最寄りは、多目的広場・シンボルタワー・高松駅前広場地下駐車場になります。

2 時間まで 100 円/20 分、2～6 時間 100 円/30 分、6～12 時間 一律 1,400 円

12～16 時間 100 円/30 分、16～24 時間 一律 2,200 円

※駐車場管理事務所 087-821-0400

※施設利用者に対する割引制度はありません。



付録3 課題部門プレゼンテーション審査タイムテーブル

審査日時：10月10日（土）10:10～16:44

会場：サンポートホール高松 5F 54 会議室

発表待ち時間：発表時間 8 分 質疑応答 4 分（海外チーム 6 分） 交代 1 分

発表順	発表時刻	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	Animalarm －複数の固定スピーカーによる害獣撃退システム－	国際
2	10:23 ～ 10:35	ReLINK －災害時ペット保護・マッチングシステム－	阿南
3	10:36 ～ 10:48	GUARD Connection －早期介入・医療業務効率化支援－	大島商船
4	10:49 ～ 11:01	CAN伐 －ARとAIを用いたスマート林業推進システム－	鳥羽商船
		休憩8分	
5	11:09 ～ 11:21	Gemmba －中小企業を対象としたDX推進システム－	明石
6	11:22 ～ 11:34	SmallStep －子供の小さな成長の記録を自動化－	小山
7	11:35 ～ 11:47	HAKO-CONNECT －学生をつなぐ学食支援システム－	函館
8	11:48 ～ 12:00	書類補完計画 －迷いを見つけ、相談をつくる。窓口をもっとやさしく－	福井
		休憩60分	
9	13:00 ～ 13:12	OliveEye －オリーブを観測する目－	香川（高松）
10	13:13 ～ 13:25	Bready	小山
11	13:26 ～ 13:38	油粘度マン －フライヤー業務効率化のための食用油劣化予測システム－	東京
12	13:39 ～ 13:51	パミット －ベテラン農家の経験や感覚を形にする－	神山
		休憩9分	
13	14:00 ～ 14:12	Manu-Tailor －すべての人が働きやすい社会へ－	木更津
14	14:13 ～ 14:25	すくすくステップ －AIを用いた子ども理解の幼児教育支援システム－	豊田
15	14:26 ～ 14:38	Forma －深刻化するパタンナー不足に、AIで立ち向かう－	沖縄
16	14:39 ～ 14:51	でぶおんはんど！ －スマホでどこでもコーディング－	都立（品川）
		休憩9分	
17	15:00 ～ 15:12	ワイングレプロテクト －ワインブドウの病害予測栽培支援サービス－	米子
18	15:13 ～ 15:25	Lean Connect	近畿大学
19	15:26 ～ 15:38	タスみる －PM初心者でも、仕様書を渡すだけでタスクが動き出す－	国際
20	15:39 ～ 15:51	ゆびしるべ －ズレの検出による教育・作業の効率化－	香川（詫間）
		休憩9分	
21	16:00 ～ 16:14	P-kun －Cloud-Connected Robotic Desk Companion－	タイ高専KOSEN-KMITL
22	16:15 ～ 16:29	HIBIKI（響-Echo）System	新モンゴル高専
23	16:30 ～ 16:44	BandFlow －Break it down, wear the flow－	新モンゴル高専

付録4 自由部門プレゼンテーション審査タイムテーブル

審査日時：10月10日（土）10:10～16:44

会場：サンポートホール高松 5F 第2小ホール

発表待ち時間：発表時間8分 質疑応答4分（海外チーム6分） 交代1分

発表順	発表時刻	タイトル	高専名
1	10:10 ～ 10:22	ココ・シール －防犯を「遊び」に、安全を「無意識」に－	豊田
2	10:23 ～ 10:35	Rulead －非日本語話者にも！受け身の公園ルール共有アプリ－	久留米
3	10:36 ～ 10:48	ACRING	熊本（熊本）
4	10:49 ～ 11:01	おんどれ －「見る」から「舞う」へ 遊んで繋ぐ伝統芸能－	石川
	11:01 ～ 11:09	休憩8分	
5	11:09 ～ 11:21	Fude Sense －フデジタルへの挑戦－	福井
6	11:22 ～ 11:34	うみっけ！ －環境DNA×AI定置網漁場最適化システム－	鳥羽商船
7	11:35 ～ 11:47	AIphone	神山
8	11:48 ～ 12:00	すずかぜ	香川（詫間）
	12:00 ～ 13:00	休憩60分	
9	13:00 ～ 13:14	Udon-Energy	新モンゴル高専
10	13:15 ～ 13:29	WELLDESK －Sit better, sip more－	新モンゴル高専
11	13:30 ～ 13:44	RE:CONNECT	モンゴル科技大高専
	13:44 ～ 13:53	休憩9分	
12	13:53 ～ 14:05	ImmersiFull －あなたと、五感で通じ合う、瞑想空間－	明石
13	14:06 ～ 14:18	マジ、ストレスMAX、ムカついて滅 －思考のごみ箱－	福井
14	14:19 ～ 14:31	超えかき歌！	仙台（広瀬）
15	14:32 ～ 14:44	らいでいある	香川（詫間）
	14:44 ～ 15:53	休憩9分	
16	14:53 ～ 15:05	Ren-kei －いつでも練習！「連」と「繋」げる踊り広場－	阿南
17	15:06 ～ 15:18	Pedalty －一瞬の判断が運命を変える－	大阪公大
18	15:19 ～ 15:31	BrailleMate －点字学習者のための補助サービス－	豊田
19	15:32 ～ 15:44	WideNavi	長岡
	15:44 ～ 15:53	休憩9分	
20	15:53 ～ 16:05	でらつくすへるぶまーく	旭川
21	16:06 ～ 16:18	かんおん!! －感情からはじめるコード理論学習－	舞鶴
22	16:19 ～ 16:31	Vocalia －find sounds by voice－	弓削商船
23	16:32 ～ 16:44	声と表情と動きが、そのまま必殺技になる －ActionTri－	長野

付録5 デモンストレーション審査, マニュアル審査タイムテーブル

審査日時： 10月11日（日）9:00～12:16

会場：サンポートホール高松 1F 展示場

審査時間：7分（説明2分・質疑応答5分・移動を含む）

審査時間	課題部門					自由部門				
	A 班 デモ	B 班 デモ	C 班 デモ	D 班 マニュアル	E 班 デモ	F 班 デモ	G 班 デモ	H 班 デモ	I 班 デモ	J 班 マニュアル
09:00～09:07	6	10	11	23	1	6	14	15	11	1
09:07～09:14	7	14	12	休憩	2	7	18	16	12	2
09:14～09:21	8	15	13	16	3	8	19	17	20	3
09:21～09:28	9	休憩	21	17	4	13	休憩	休憩	21	4
09:28～09:35	10	11	22	18	5	14	15	9	22	5
09:35～09:42	1	12	休憩	19	6	1	16	10	23	6
09:42～09:49	休憩	13	休憩	20	休憩	休憩	17	休憩	休憩	休憩
09:49～09:56	2	休憩	14	休憩	7	2	休憩	18	休憩	7
09:56～10:03	3	23	15	休憩	8	3	11	19	休憩	8
10:03～10:10	4	休憩	16	1	9	4	12	20	1	13
10:10～10:17	5	6	17	2	10	5	6	21	2	14
10:17～10:24	21	7	18	3	11	休憩	7	22	3	15
10:24～10:31	22	8	19	4	12	9	8	23	4	16
10:31～10:38		9	20	5	休憩	10	13		5	休憩
10:38～10:45	評点入力（審査委員控室）				13	評点入力（審査委員控室）				9
10:45～10:52					14					10
10:52～10:59					15					11
10:59～11:06	入力終了後、自由見学				16	入力終了後、自由見学				12
11:06～11:13					17					17
11:13～11:20					18					18
11:20～11:27					休憩					休憩
11:27～11:34					19					19
11:34～11:41					20					20
11:41～11:48					21					21
11:48～11:55					22					22
11:55～12:02					23					23

※注意

表内の数字 1～23 は、プレゼンテーション審査における当該作品の発表順を示しています。

網掛けセル(課題 21～23、自由 9～11)は、海外からの参加チームを示しています。

前大会と異なり、各グループは約半数のチームについて評価していただき、評価審査員数に応じた数値に換算します。なお、評点を入力した後は、どのチームについても自由にご見学いただけます。

付録 6 競技部門の組み合わせ

1 回戦 ※各試合上位 5 チームが準決勝へ進出します。6 位以下は敗者復活戦への出場が決定します。

ブース	第 1 試合	第 2 試合	第 3 試合	第 4 試合	第 5 試合	第 6 試合
1	佐世保	群馬	一関	富山(本郷)	徳山	神戸市立
2	大分	香川(高松)	鈴鹿	都城	阿南	鳥羽商船
3	石川	苫小牧	奈良	都立(品川)	東京	仙台(広瀬)
4	大阪公大	弓削商船	鶴岡	サレジオ	久留米	和歌山
5	神山	長野	広島商船	沼津	釧路	津山
6	豊田	熊本(八代)	宇部	仙台(名取)	熊本(熊本)	小山
7	舞鶴	旭川	木更津	明石	富山(射水)	大島商船
8	秋田	鹿児島	新居浜	米子	沖縄	香川(詫間)
9	松江	福井	有明	茨城	八戸	長岡
10	呉	近畿大	ハノイ国家大	新モンゴル	モンゴル技科大	

敗者復活戦 ※各試合上位 2 チームが準決勝へ進出します。

ブース	第 1 試合	第 2 試合	第 3 試合
1	1-1-6	1-3-6	1-5-6
2	1-2-6	1-4-6	1-6-6
3	1-3-7	1-5-7	1-1-7
4	1-4-7	1-6-7	1-2-7
5	1-5-8	1-1-8	1-3-8
6	1-6-8	1-2-8	1-4-8
7	1-1-9	1-3-9	1-5-9
8	1-2-9	1-4-9	1-6-9
9	1-3-10	1-5-10	1-1-10
10	1-4-10		1-2-10

※表内の数列 X-Y-Z は
X 回戦-第 Y 試合-第 Z 位 を表します。

準決勝 ※各試合上位 2 チームが決勝へ進出します。

ブース	第 1 試合	第 2 試合	第 3 試合	第 4 試合
1	1-1-1	1-2-1	1-3-1	1-4-1
2	1-5-1	1-6-1	1-6-2	1-5-2
3	1-4-2	1-3-2	1-2-2	1-1-2
4	1-3-3	1-4-3	1-5-3	1-6-3
5	1-2-3	1-1-3	1-1-4	1-2-4
6	1-6-4	1-5-4	1-4-4	1-3-4
7	1-1-5	1-2-5	1-3-5	1-4-5
8	1-5-5	1-6-5	C-3-1	C-2-2
9	C-1-1	C-2-1	C-1-2	C-3-2

凡例：X 回戦-第 Y 試合-第 Z 位
ただし、X 部分の C は敗者復活戦

決勝戦

ブース	第 1 試合	ブース	第 1 試合
1	S-1-1	6	S-2-2
2	S-2-1	7	S-3-2
3	S-3-1	8	S-4-2
4	S-4-1	9	L-1-1
5	S-1-2	10	L-1-2

凡例：X-第 Y 試合-第 Z 位
ただし、X 部分の S は準決勝、
L はサイコロで出場校を決定します。